



鋼橋の維持管理全体の高度化に関するワークショップ

主催：土木学会関西支部 鋼橋の維持管理全体の高度化に関する共同研究グループ

道路橋では 2014 年から全橋梁に対する 5 年毎の近接目視点検が義務付けられ、点検の効率化や省力化に的を絞った研究に衆目が集まっていますが、点検は目的ではなく、あくまでも手段であり、対策を含めた維持管理サイクル全体の効率化・高度化が重要です。一方、鉄道橋では、以前から 2 年毎の定期検査が義務付けられており、検査結果に基づいて様々な補修補強対策が施されていますが、損傷が再発した事例も報告されています。

本共同研究グループでは、鉄道事業者や道路管理者、コンサルタント、施工業者、大学の研究者、弁護士等で構成し、鋼橋の維持管理全体の高度化に関する調査研究を行って参りました。

このたび、その成果を踏まえ、下記の要領でワークショップを開催し、研究成果をご報告申し上げたいと存じます。奮ってご参加下さいますようご案内いたします。

● 開催日時：平成 28 年 7 月 29 日（金）13:30～17:30

● 会 場：建設交流館 7F 会議室 702
〒550-0012 大阪市西区立売堀 2-1-2
地下鉄本町駅 22・23 号出口より徒歩 6 分
地下鉄阿波座駅 2 号出口より徒歩 5 分
地下鉄西大橋駅 1 号出口より徒歩 5 分

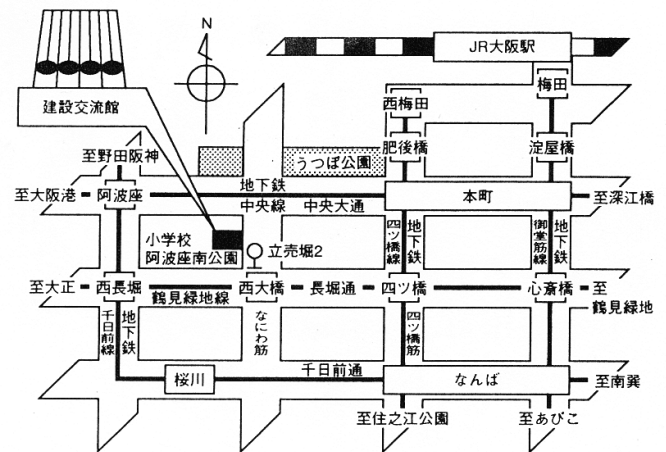
● 定 員：100 名

● 参 加 費：無料

● 申込締切：定員に達しましたので、申込を締め切りました。多数のお申込、ありがとうございました。
なお、キャンセルが発生しましたら、こちらのページで再度ご案内いたします。

● 資 料：ワークショップ当日、会場では資料の配布を行いません。
資料は、申込完了時に届くメールに記載の URL からダウンロードしご持参ください。
(7 月中旬に掲載予定です)

● 問 合 先：土木学会関西支部「鋼橋 WS」係
〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1-4-409 Tel：06-6271-6686 / Fax：06-6271-6485



● プログラム（案）

鋼橋の維持管理全体の高度化に関するワークショップ

司会：共同研究グループ連絡担当幹事 松本 健太郎（㈱レールテック）

13：30－13：50（20分）開会の挨拶

共同研究グループ代表 坂野 昌弘（関西大学）

13：50－15：20（90分）道路構造物に関する事例紹介

- ・土木構造物の瑕疵に対する発注者，施工者，設計者の法的責任
- ・大阪府の橋梁維持管理計画について
- ・実橋計測に基づく支承の挙動確認と機能評価
- ・新型ワンサイドボルトを用いた鋼床版の下面補修工法

匠総合法律事務所

江副 哲

大阪府

富山 久男

川金コアテック㈱

柴崎 奈穂

本州四国連絡高速道路㈱

溝上 善昭

15：20－15：35（休憩 15分）

15：35－17：25（110分）鉄道構造物に関する事例紹介

- ・鋼/合成構造物の設計および維持管理の合理化
- ・鉄道アンダーパス工事仮工事桁の構造変更に伴う対策と計測
- ・鋼鉄道橋の実応力測定による健全度診断
- ・サンプリングモアレカメラを用いた鋼桁の健全度診断
- ・Iビーム桁支点首部の疲労損傷対策について

前橋工科大学

谷口 望

阪急設計コンサルタント㈱

室屋 信彦

京阪電気鉄道㈱

高橋 真矢

ジェイアール西日本コンサルタンツ㈱

矢島 秀治

西日本旅客鉄道㈱

池頭 賢

17：25－17：30（5分）閉会の挨拶

共同研究グループ幹事 田辺篤史（㈱日建設計シビル）

※ プログラムは一部変更する場合があります。
本講習会は，土木学会 CPD(ポイント 3.8 単位)のプログラムです。